

平成20年度 事業活動報告

1. 20年度事業の概要

20年度、当NPO法人は、東海村支部を中心に「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」を実施するとともに、「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」として広報誌の発行を行った。また、「科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業」として、東海村より受託した原子力講座開催業務により、20年10月より「環境とエネルギー問題の基礎」、「原子力立国計画を読む」、トピックとして「原子力施設の耐震安全性」について各テーマ2回、計6回の市民向け講座を実施した。「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」では、農林水産省や原子力安全・保安院のリスクコミュニケーション研修や、新潟県柏崎市・刈羽村の市民団体「くらしをみつめる・・・柏桃の輪」の勉強会での講演および東海村での交流会を行うとともに、東海村より受託した住民原子力懇談会開催業務により、白方区地区役員、村、日本原電との懇談会の実施支援を行った。この他、会員への情報提供として、事務局通信を作成し、送信した。

2. 事業の詳細

(1)行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業

- 経済産業省原子力安全・保安院の依頼により、副代表理事土屋智子が、平成20年度原子力リスクコミュニケーション研修講師として、2日間の研修を実施した。(平成20年8月7、8日)
- 農林水産省農林水産研修所が主催する平成20年度農政課題地方公共団体職員研修(平成20年9月11日実施)において、副代表理事土屋智子が講師としてリスクコミュニケーションの講義と演習を行った。
- 市民団体「くらしをみつめる・・・柏桃の輪」が企画した「リスクコミュニケーション」学習会において、副代表理事土屋智子が「東海村のJCO臨界事故の衝撃とリスクコミュニケーションの重要性」および「原子力施設の安全確保～今、私たちができること～」と題する講演と議論を行った。(平成20年9月27日、10月4日実施)さらに、柏桃の輪メンバー30名の東海村訪問時には、合同視察・交流会を実施し、原子力立地地域における住民の役割や活動展開の課題などを議論した。(平成20年10月24～25日)なお、この事業は、柏桃の輪が社会経済生産性本部の支援を得て行われた。交流会の実施状況は、「しーきゅうぶ東海村」第8号にまとめ、広く地域住民に情報提供を行った。
- 東海村より受託した住民原子力懇談会について、対象事業所となった日本原電や白方区長との打ち合わせを踏まえ、地区役員、村、日本原電との懇談会の実施運営を担い、実施報告を行った。(平成21年3月27日実施)

(2)科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業

東海村より受託した原子力講座開催業務を以下のとおり企画・運営し、実施報告を行った。
第1回講座：環境とエネルギー問題の基礎 その1 (中岡 章) 平成20年10月18日実施

- 第2回講座：環境とエネルギー問題の基礎 その2（中岡 章） 平成20年11月29日実施
 第3回講座：原子力立国計画を読む 1（鈴木達治郎） 平成20年12月 6日実施
 第4回講座：原子力立国計画を読む 2（鈴木達治郎） 平成21年 1月17日実施
 第5回講座：原子力施設の耐震問題 1（中村 晋） 平成21年 2月 7日実施
 第6回講座：原子力施設の耐震問題 2（中村 晋） 平成21年 3月 7日実施

なお、講座参加者の関心の高かった「環境・エネルギー問題」については、NPO 独自で講師を招き、しーきゅうぶ東海村ワンコイン講座「中岡さんと話す会」を実施した。会員以外の5名の参加者を含む計13名の参加者により活発な議論が行われた。（平成21年2月12日実施）

(3)安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業

①日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所の視察の実施

平成20年4月16日に視察を行った核燃料サイクル工学研究所高レベル放射性物質研究施設の安全対策について視察レポートを作成し、6月5日に事業所へ提出した。核燃料サイクル工学研究所からは7月9日に視察時および視察レポートで当NPOが提案した安全対策向上方策に対して回答があった。その後、視察結果を「しーきゅうぶ東海村」第7号で広く住民へ情報提供した。

②三菱原子燃料株式会社の2件の火災に関する説明会の実施

平成18年に視察を行った三菱原子燃料株式会社において、平成20年10月と11月に火災が発生したことから、3月11日に説明会を設け、原因と対策について説明を受けた。火災の原因と再発防止策に対する東海村支部の見解をまとめ、「しーきゅうぶ東海村」特別号3において、広く住民へ情報提供を行った。

(4)リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業

①広報誌の発行

第7号より、印刷部数を1000部に倍増し、支部メンバー自ら、戸別配布をするなど、より多くの住民の皆さんに情報を届ける努力を開始した。

＜広報誌発行状況＞

しーきゅうぶ東海村 第7号 平成20年9月発行 高レベル放射性物質研究施設 視察報告

しーきゅうぶ東海村 第8号 平成21年1月発行 柏桃の輪との交流会 実施報告

しーきゅうぶ東海村 特別号3 平成21年5月発行 三菱原燃 火災問題の説明会 実施報告

3. 組織強化のための取り組み

NPO法人としての組織強化のため、会員への情報提供として事務局通信を出すとともに、活動支援者の増加を目的として東海村支部にオブザーバー制度を設けた。

＜「HSEリスクC3事務局通信」の発信状況＞

20年 6月 2日 第19号 総会報告など

12月26日 第20号 理事会報告、東海村支部活動報告

<オブザーバー制度>

東海村支部の広報誌「しーきゅうぶ東海村」を提供するとともに、支部の活動に対する意見をいただく登録制のオブザーバー。現在の登録者数は1名。

<理事会>

第5回 20年6月21日 東海村合同庁舎 会議室

平成19年度事業報告、決算報告、平成20年度事業計画、予算案について説明し、今後の活動計画について議論した。柏崎市の市民団体との交流会は単発的な事業ではなく、今後の主要な活動と位置づけ、継続的に行うことになった。理事会終了後、ひきつづき通常総会を実施した。

NPO法人HSEリスク・シーキューブ 平成20年度 活動記録

20年度	行政・企業・市民間の リスクコミュニケーション活動の支援事業	安全及び環境の保身に 係わる施設・活動の視 察および改善提言の事 業	科学技術リスクに係わ るリテラシー養成事業	リスクコミュニケーション活動に係わる広報 啓発事業
6月		5日 核燃料サイクル 工学研究所へ視察 レポートを提出		
7月	東海村より住民原子力 懇談会開催業務を受 託	9日 核燃料サイクル工 学研究所より返答 および追加説明		
8月	7～8日 原子力安全・ 保安院研修実施			
9月	11日 農林水産研修所 研修実施 27日 柏桃の輪勉強会 講演			27日 しーきゅうぶ東 海村第7号を発行
10月	4日 柏桃の輪勉強会講 演 24～25日 柏桃の輪と の交流会実施		18日 第1回公民館講 座	
11月			29日 第2回公民館講 座	
12月	2日 住民原子力懇談会 第1回打ち合わせ		6日 第3回公民館講座	
1月	26日 白方区長と打ち 合わせ		17日 第4回公民館講 座	27日 しーきゅうぶ東 海村第8号を発行
2月	5日 住民原子力懇談会 第2回打ち合わせ		7日 第5回公民館講 座 12日 ワンコイン講座	
3月	4日 住民原子力懇談会 第3回打ち合わせ 16日 住民原子力懇談 会第4回打ち合わせ 27日 住民原子力懇談 会実施 東海村へ実施報告提出	11日 三菱原燃説明会 を実施(2件の火災 の原因と再発防止 策について)	7日 第6回公民館講 座	
4月				
5月				しーきゅうぶ東海村特 別号3を発行

<その他 運営上の活動>

平成20年6月21日に 第3回通常総会を実施